

概要版

令和元年度横瀬川ダム事業費等監理委員会資料

横瀬川ダム建設事業について

国土交通省四国地方整備局
中筋川総合開発工事事務所

目次

1. 事業の経緯	P2
2. 前回の意見に対する対応	P3
3. 事業進捗状況	P8
4. コスト縮減の主な取組結果	P10

1. 横瀬川ダム事業の経緯

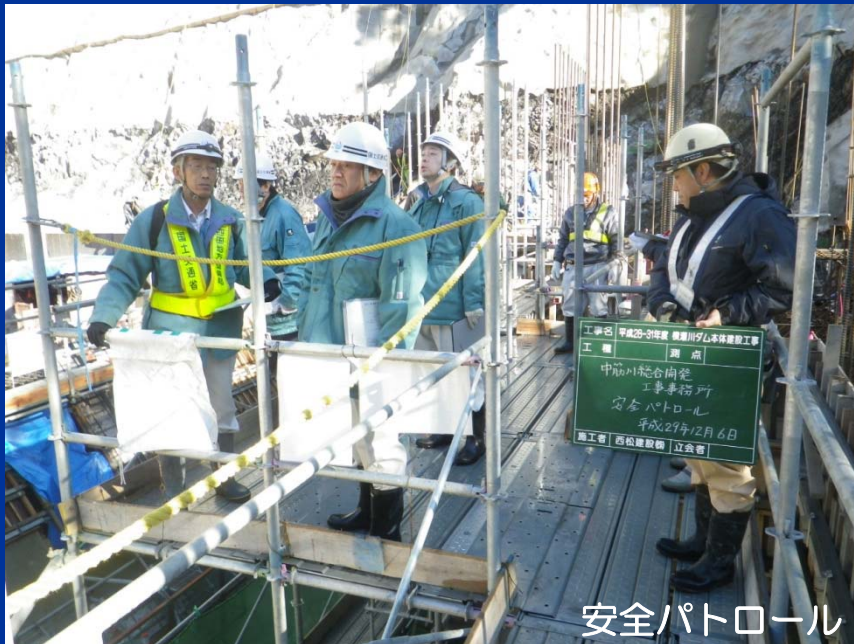
年 月	主な内容
平成 2年 6月	事業着手
平成 7年 3月	横瀬川ダムを水源とする「西部統合簡易水道施設整備事業(中村市)」を高知県が認可
平成13年 12月	中筋川河川整備計画策定(横瀬川ダムが位置づけられる)
平成14年 6月	横瀬川ダム基本計画公示【事業費:約400億円 工期:平成24年度】
平成15年 4月	工事用及び付替え道路建設工事着手
平成16年 2月	用地買収開始
平成16年 3月	横瀬川ダム建設事業に伴う山林保全措置制度に係る基本協定書締結
平成20年 7月	横瀬川ダム基本計画(変更)公示【事業費:約400億円 工期:H27年度】
平成20年 9月	漁業補償の契約締結
平成21年 2月	渡川水系河川整備基本方針策定
平成21年 12月	新たな基準に沿った検証の対象とするダム事業に区分
平成22年 9月	国土交通大臣によるダム事業の検討に係る検討指示
平成23年 3月	仮排水路トンネル完成
平成25年 1月	ダム検証に係る検討について、国土交通大臣がダム建設事業の継続を判断
平成25年 11月	横瀬川ダム基本計画(変更)告示【事業費:約400億円 工期:H31年度】
平成26年 11月	事業認定手続開始
平成27年 2月	渡川水系河川整備計画策定
平成27年 3月	事業認定告示
平成28年 4月	ダムサイト用地の権利取得、明渡
平成28年 6月	横瀬川ダム本体建設工事契約締結
平成28年 11月	横瀬川ダム本体起工式
平成29年 5月	横瀬川ダム本体コンクリート打設開始
平成29年 12月	横瀬川ダム本体定礎式
平成31年 3月	横瀬川ダム本体コンクリート打設完了
令和元年 10月	横瀬川ダム試験湛水開始
令和 2年 3月	横瀬川ダム竣工予定

2. 前回の意見に対する対応①

- ◆自然災害の発生や地質等の現場条件などの不確定な要因はあるが、安全面に十分に配慮した上で、一層の工程管理とコスト縮減に努めること。

【対応状況】

- ・事業監理（事業費、工程）を適切に行うとともに、発注者と受注者が連携した工程管理・安全管理を実施することで、大きな事故無く事業費、工期とも基本計画どおり事業が完了する見込みとなった。



2. 前回の意見に対する対応②

- ◆ダム工事を見ることの出来る貴重な現場を学校教育等に活用するとともに、地元市町村や民間団体等と協働し、中筋川ダムとの連携も含めた地域づくりについて検討すること。

【対応状況】

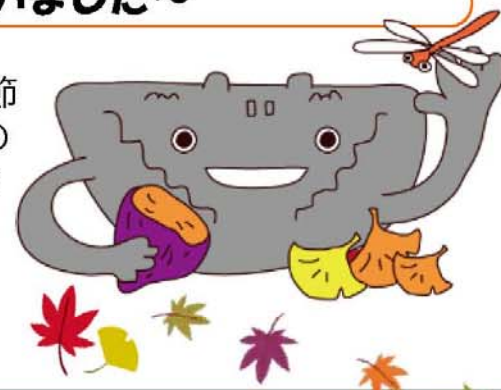
- 様々な団体（中高生、地元・業界関係者など）に対して見学会を開催。
- 夏休みは小学生以下と保護者を対象に見学ツアーを開催。
- 地元中学生によるダム湛水前に現地で採取、育成したモミジの苗の植樹を実施。
- 中筋川ダム・横瀬川ダム等を活用した地域振興や防災教育に関する自立的・持続的な活動を、官学民一体となって支援し地域の活性化を図る活動を行えるよう新たな枠組みがスタート。

TOPICS

横瀬川ダムで植樹会を実施！！

～中筋中学校全校生徒がモミジの植樹を行いました～

横瀬川ダムでは、11月28日（木）に、地元中筋中学校の皆さんにより、「紅葉の季節には、横瀬川ダムにたくさんの方に訪れていただけるように」と、ダム周辺の景色を彩るモミジの木をダムサイト左岸側に植樹していただきました。モミジの木は中筋中学校の皆さんがダムの湛水前に現地で苗を採取し、中学校に持ち帰り育てていただいたものです。



植樹したモミジ



生徒の皆さんからは、「大きく育てね」「久しぶりに来たダムに水が貯まっていて、とても感動した」などの感想をいただきました。

TOPICS

令和元年7月1日 四万十市、宿毛市、三原村が連携し、
ダム等を活用した地域振興活動をスタート！！

～第1回 ダム利活用調整協議会を設立～



(出席者: 各市長・村長、教育長、商工会議所会頭等、中筋川総合開発工事事務所長)

中筋川ダム・横瀬川ダム等を活用した地域振興や防災教育に関する自立的・持続的な活動を、官学民一体となって支援し地域の活性化を図ること等を目的とした協議会を開催しました。



ダムを活用した今後の主な計画



横瀬川ダムでスポーツクライミング



ダムの壁をクライミング！
今秋完成予定

中筋川ダムにとぶろく貯蔵



ダム内部を酒造に活用
蛭湖まつりで蔵出し予定

「蛭湖まつり」リニューアル 8/25(日)開催



ダム湖でカヌー体験や音楽会を開催予定

TOPICS

【ダム活元気ネットワーク発足】



関係者：全19人（四万十市まちづくり課、宿毛市商工観光課、三原村地域振興課、四万十市教育委員会、宿毛市教育委員会、三原村教育委員会、中村商工会議所、宿毛商工会議所、三原村商工会、四万十市観光協会、宿毛市観光協会、高知県幡多土木事務所宿毛事務所、横瀬区、山田区、戸内区、黒川区、宮ノ川区、星ヶ丘区、中筋川総合開発工事事務所）

中筋川ダム・横瀬川ダム等を活用した具体的な活動の検討及び実施、支援を行う地元活動組織として、7月26日に「ダム活元気ネットワーク」が結成され、当日は令和元年度の活動スケジュール等について確認しました。

～令和元年度の主な活動内容～

★8月25日(日)
螢湖まつり
・夏の音楽祭
・子供デイキャンプ
・とぶろく蔵出し 等

★10月27日(日)
横瀬アクティブイベント
・クライミング
・森林探検
(サイクリング)等



チラシもできました！

3. 事業進捗状況

(令和元年12月末時点)

補償基準	H15.10 用地補償基準提示 ※個別補償のため、提示により個別に了解
用地取得 (50ha)	100% (50ha)
家屋移転 (8世帯、1戸)	100% (8世帯、その他1戸)
付替道路 (5.5km)	89% (4.9km)
ダム本体及 び関連工事	<p>仮排水トンネル — 基礎掘削 — コンクリート打設 — 試験湛水</p> <p>50%</p>

※ -- 用地取得 -- 代替地 -- 付替工事 -- 本体関連

3. 事業進捗状況

(令和元年12月末時点)

- H28年度からダム本体建設工事に着手。
- H29.5月から本体コンクリート打設を開始し、H31.3月打設完了。
- 基礎処理工がR1.6月に完了。
- R1.10月より試験湛水を実施中。

①ダム遠景



凡例
主要な事業箇所

③付替市道(左岸上流部)



②堤内仮排水路閉塞



⑤一生原トンネル



④付替市道(右岸下流部)



4. コスト縮減の主な取組結果

ダム形式(減勢工)の見直し	購入骨材の採用	山林保全措置制度の活用により縮減	付替道路建設におけるコスト縮減
<p>水平水叩きを設けない「側水路方式」による減勢システムを採用し、堤体積、掘削土量等に係る費用を縮減</p> 	<p>原石山に頼らない「購入骨材」を採用することにより費用を縮減</p>	<p>ダム湖周辺の山林を公有化し、適切な保全を図る「山林保全措置制度」を適用し、付替道路等の整備に係る費用を縮減</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・ダム湖の景観保全 ・環境、生態系の保全 ・工期の短縮 	<p>新技術の活用などにより、安全性施工性の向上、および付替道路建設に係る費用を縮減</p>  <p>※比重の小さい発泡モルタルを盛土材として活用することにより、急峻な場所でも最小限の掘削で安全に施工することができる工法。</p>
約10億円の縮減	約22億円の縮減	約16億円の縮減	約5億円の縮減

4. コスト縮減の主な取組結果

伐採立木の用材・枝葉の売却

従来、処分費のかかっていた伐採木の枝葉、雑木について、近隣のバイオマス発電施設に売却することにより処分費を縮減



発電施設全景（H27年2月操業）

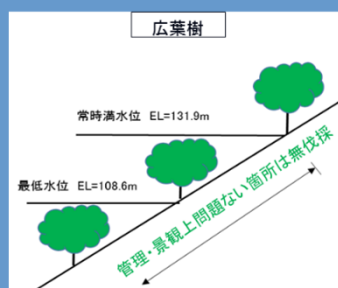
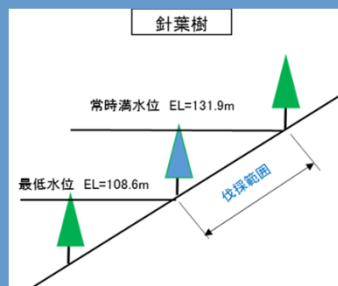


枝葉集積状況

約1億円の縮減

貯水池内樹木伐採範囲の見直し

ダム貯水池内の樹木について、従来は平常時最高貯水位（常時満水位）以下は伐採していたが、近年の他ダムの実績等より、平常時最高貯水池から最低水位の広葉樹については管理・景観上支障のある範囲以外は無伐採とした



約0.5億円の縮減